

第83期
中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

Micro&Fine Technology

【 経営理念 】

私たちは、お客様にとって価値のある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

私たちは、情報を重視し、世界の変化にすばやく適応するため、技術・知識・行動の革新に挑戦し続けます。

私たちは、利益ある発展と、創造性豊かでいきいきとした企業風土の確立を目指します。

当社の経営方針について

当社はステンレス鋼線並びに金属繊維（ナスロン）を主力製品とし、長年に亘り培ってきた技術力と新しい技術分野への挑戦により、お客様にとって価値ある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献することを経営の基本理念といたしております。

また、株主の皆様並びにお取引先など、内外の関係先からの信頼と期待に応えるため、常に世の中の変化に迅速に対応できる柔軟な経営体制の構築を通じて、安定した収益基盤の維持・拡大を図るべく事業活動を展開してまいります。

株主の皆様へ

日本精線は、ステンレス鋼線のトップメーカーとして、次世代素材、技術開発をリードしつづけています。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第83期中間期（第2四半期累計期間、平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

平成24年12月



代表取締役社長

近藤 龍夫

当中間期(第2四半期連結累計期間)におけるわが国経済は、震災からの復興による内需押し上げが引き続き景気を下支えし、景気は緩やかながら、回復基調となりましたが、一方で欧州債務問題等による海外経済の低迷や長期化する円高の影響、エコカー補助金の終了、さらには中国経済の減速など先行き不透明な状況で推移しました。

ステンレス鋼線業界におきましても、震災による落ち込みからの回復が続いてきましたが、海外経済の減速を背景に出荷数量は、前年同期比で横這いとなりました。

このような状況のもと、当社グループでは、(1)高機能製品・独自製品(ばね用材、耐熱ボルト用材、金属繊維など)の売上高比率70%以上、(2)海外売上高比率30%以上などを経営目標とする『第12次中期計画(ミッション753)』(最終年度平成27年3月期)の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。しかしながら、長期化する円高を背景に輸出が低調に推移したことに加え、ニッケル価格変動に伴う販売価格引下げの影響、さらには半導体業界等での需要低迷の影響を免れることができず、当中間期の売上高は150億36百万円と前年同期比11.6%の減収となりました。

損益につきましては、売上高の減少に伴う粗利の減少や工場操業度の悪化等により営業利益13億円(前年同期比30.5%減)、経常利益13億35百万円(同29.9%減)、四半期純利益8億30百万円(同30.3%減)となりました。

なお、中間配当につきましては、既に公表しておりますとおり1株につき5円とさせていただきます。

次に部門別の概要についてご報告申し上げます。

ステンレス鋼線部門

主力のばね用材は堅調に推移したものの、弱電・家電向けや太陽光発電向け等の需要低迷に加え、欧州向けなど輸出が低調に推移した結果、販売数量は前年同期比微減となり、さらに、ニッケル価格変動に伴う販売価格引下げの影響により、売上高は減少しました。

また、海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD.につきましては、タイ洪水で被災した顧客の生産減の影響等により、販売数量は前年同期比微減となり、加えて販売単価引下げの影響もあり、売上高は減少しました。

これらの結果、ステンレス鋼線部門の売上高は129億66百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

金属繊維(ナスロン)部門

主力のナスロンフィルター分野が液晶パネル用などの需要回復の遅れにより高性能樹脂用途が低調に推移し、また超精密ガスフィルター(ナスクリーン)も半導体業界での設備投資の低迷期にあ

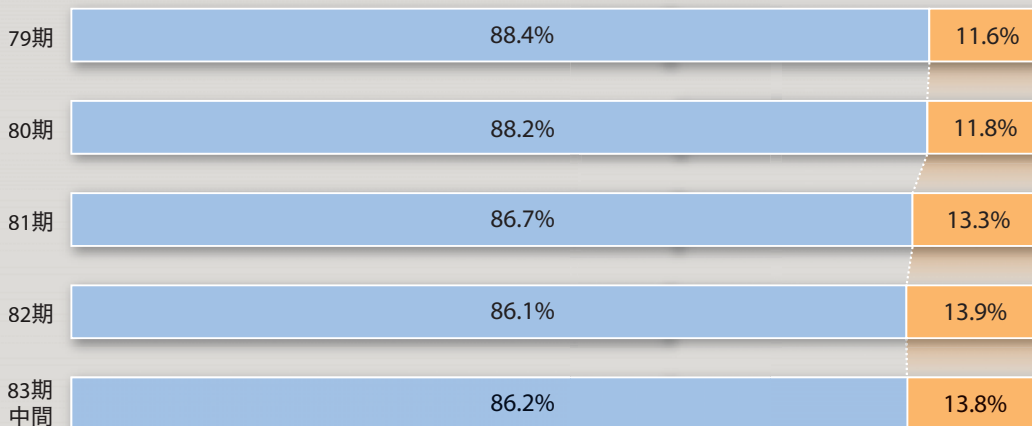
たり、大幅減収となったことにより、売上高は減少しました。

一方、海外現地法人である耐素龍精密濾機(常熟)有限公司につきましては、中国国内の需要が引き続き堅調であったことや拡販活動の強化により、前年同期に比べて売上高は増加いたしました。

これらの結果、金属繊維部門の売上高は20億70百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

部門別売上構成比(連結)

■ ステンレス鋼線 ■ 金属繊維(ナスロン)



(注) 部門区分につき、従来「その他加工品」は第79期より「ステンレス鋼線」に含めて集計しております。

今後の見通しといたしましては、エコカー補助金終了の反動による自動車の生産減少や加速する製造業の海外移転、欧州の信用不安による世界経済の減速など、先行きの不透明感は強まっております。

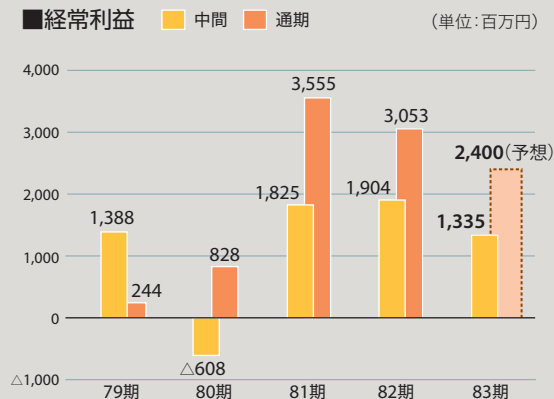
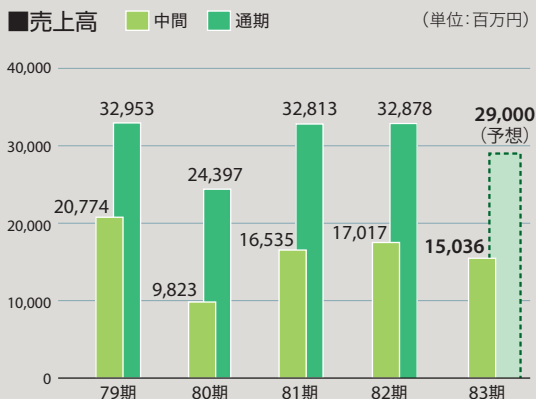
また、当社グループの主力商品であるステンレス鋼線は、円高の長期化による中国や韓国のステンレス鋼線メーカーとの競争激化による収益低下などの懸念があり、加えてニッケル価格の変動リスクなど厳しい環境下に置かれております。また金属繊維(ナスロン)も化合繊維向けなどの一般汎用製品については競争が激しくなっております。

こうした中で、当社グループは斯かる経営環境

に対応すべく、前述の『第12次中期計画(ミッション753)』の課題に鋭意取り組んでおります。

具体的には、ステンレス鋼線部門において、販売面では国内外市場に対し、ばね用材や極細線をはじめとする高機能製品、自動車向け耐熱ボルト用材や高合金線など独自製品の拡販に加え、新用途製品の立ち上げを推進しています。一方、生産面では名古屋工場リニューアルが完了し、同工場をソーワイヤー専用工場といたしました。引き続き国内3工場・海外2工場の最適生産体制の構築を推進していくとともにコスト競争力向上にも努めてまいります。開発面では当社グループの保有する技術力・ノウハウに大同特殊鋼グループの技術力を結集することにより、新製品開発

業績の推移(連結)



の強化や新規事業の確立などに引き続き取り組んでまいります。

金属繊維部門では、中国・韓国の現地法人の活用による海外市場への拡販、また、国内でもより高機能化・高精度化する需要に応えるべく設備投資・技術開発を継続して実施してまいります。

さらにシリコン・サファイアなどの切断用ダイヤモンドソーワイヤー(商品名:さスカット)は、本格的な生産・販売を開始し、環境負荷物質を含まず高強度・高導電性を有するばね用銅系合金線(商品名:エレメタル)などの新製品・新用途製品の拡充にも鋭意取り組んでまいります。

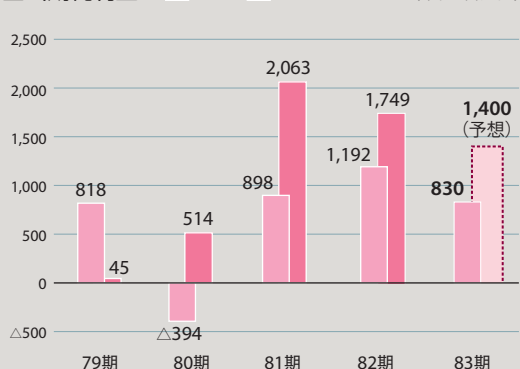
以上の諸施策を着実に実行し、収益の一段の向上を図るとともに、事業のグローバル化推進や

高度化・多様化する顧客ニーズへの対応などにより、『さらなる企業価値の向上』にグループ一丸となって取り組んでまいります。

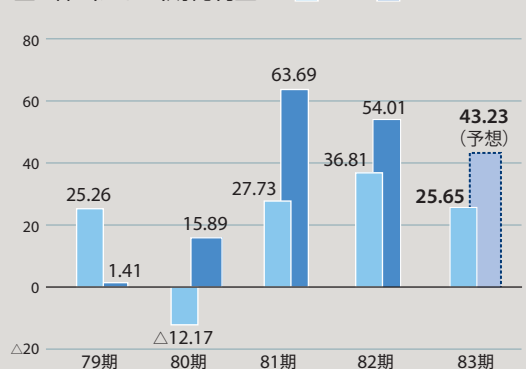
なお、平成25年3月期の連結通期業績につきましては、第3四半期以降も、引き続き太陽光や液晶関連業界での需要低迷が予想され、さらに半導体業界においても回復の兆しが見えず、厳しい受注環境が続くものと想定されることから、売上高290億円(前年同期比11.8%減)、経常利益24億円(同21.4%減)、当期純利益14億円(同20.0%減)に修正しております。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■当期純利益 (単位:百万円)



■1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結決算

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		19,297	19,119	18,888
現金及び預金		6,775	6,124	6,578
受取手形及び売掛金		6,239	6,785	6,196
商品及び製品		2,283	2,043	2,050
仕掛品		2,276	2,350	2,221
原材料及び貯蔵品		1,246	1,295	1,400
繰延税金資産		321	—	302
その他		153	519	138
固定資産		12,608	12,329	12,578
有形固定資産		10,379	9,826	10,253
建物及び構築物(純額)		2,959	2,988	2,945
機械装置及び運搬具(純額)		5,235	4,594	4,874
土地		1,714	1,731	1,730
リース資産(純額)		24	24	30
建設仮勘定		197	250	440
その他(純額)		246	238	231
無形固定資産		307	381	347
投資その他の資産		1,921	2,121	1,977
資産合計		31,905	31,448	31,466

*財務諸表は以下に基づき作成しております。

①当第2四半期累計期間(末)及び前第2四半期累計期間(末)は四半期連結財務諸表規則に基づき、それぞれ作成しております。

②記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	期別	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		6,089	6,953	6,165
支払手形及び買掛金		3,579	4,301	3,825
短期借入金		436	647	451
未払法人税等		545	691	206
賞与引当金		580	550	580
役員賞与引当金		—	—	37
資産除去債務		46	—	46
その他		900	761	1,017
固定負債		4,027	3,715	4,030
長期借入金		870	540	955
退職給付引当金		2,917	2,922	2,854
役員退職慰労引当金		125	92	109
資産除去債務		24	72	17
その他		90	88	94
負債合計		10,116	10,668	10,195
純資産の部				
株主資本		22,108	21,046	21,440
資本金		5,000	5,000	5,000
資本剰余金		5,446	5,446	5,446
利益剰余金		11,693	10,629	11,025
自己株式		△ 31	△ 29	△ 31
その他の包括利益累計額合計		△ 491	△ 411	△ 330
その他有価証券評価差額金		△ 95	△ 45	△ 20
繰延ヘッジ損益		—	△ 0	0
土地再評価差額金		127	127	127
為替換算調整勘定		△ 523	△ 493	△ 436
少数株主持分		171	145	161
純資産合計		21,788	20,780	21,271
負債純資産合計		31,905	31,448	31,466

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
		(平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	(平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高		15,036	17,017	32,878
売上原価		12,449	13,777	27,058
売上総利益		2,587	3,240	5,820
販売費及び一般管理費		1,286	1,368	2,808
営業利益		1,300	1,871	3,011
営業外収益		62	59	95
営業外費用		27	26	53
経常利益		1,335	1,904	3,053
特別損失		17	16	28
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前当期純利益		1,317	1,888	3,025
法人税、住民税及び事業税		515	594	987
法人税等調整額		△41	97	269
少数株主損益調整前四半期純利益 又は少数株主損益調整前当期純利益		843	1,196	1,768
少数株主利益		13	4	19
四半期純利益又は当期純利益		830	1,192	1,749

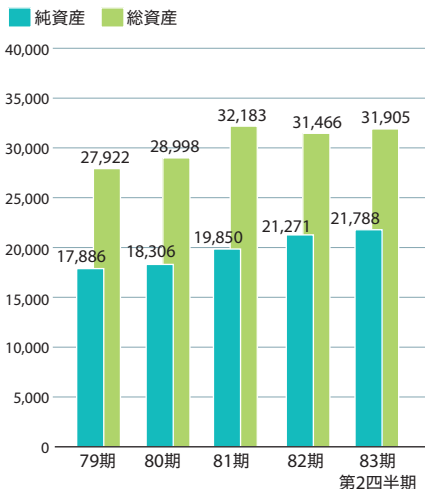
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
		(平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	(平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,388	199	1,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		△900	△986	△1,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		△251	△412	△371
現金及び現金同等物に係る換算差額		△39	△33	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		197	△1,233	△780
現金及び現金同等物の期首残高		6,619	7,399	7,399
現金及び現金同等物の四半期末又は期末残高		6,816	6,165	6,619

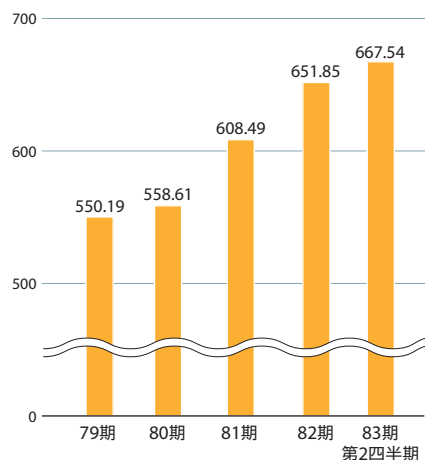
■総資産・純資産(連結)

(単位:百万円)



■1株当たり純資産(連結)

(単位:円)



会社の概況 (平成24年9月30日現在)

会社概要

商号 日本精線株式会社
(英文名 NIPPON SEISEN CO., LTD.)
設立 昭和26年6月30日
資本金 50億円
従業員数 560名
ホームページ <http://www.n-seisen.co.jp/>
アドレス

当社グループの主な営業品目

ステンレス鋼線、ステンレス鋼直棒・異形線、高合金線、チタン線、金属繊維(ナスロン)及びその加工品、金属繊維焼結フィルター、半導体用超精密ガスフィルター、ダイヤモンドダイス、溶接棒、その他金属線

当社グループの主要な事業所

■当社

本社 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル)
支店・営業所 大阪(大阪市中央区)・東京(東京都中央区)
名古屋(名古屋市中区)・九州(福岡市中央区)
工場 枚方(大阪府枚方市)・東大阪(大阪府東大阪市)
名古屋(名古屋港区)

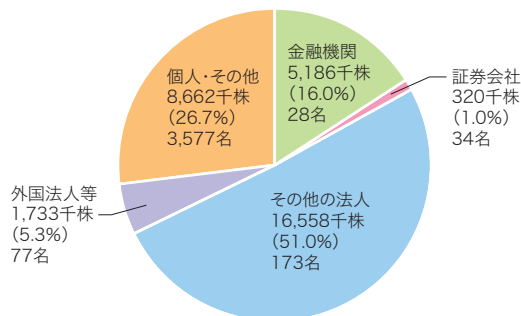
■主な子会社

会社名	出資比率	所在地
THAI SEISEN CO., LTD. (*)	95%	タイ国サムットプラカーン
耐素龍精密濾機(常熟)有限公司(*)	70%	中国江蘇省常熟
大同不銹鋼(大連)有限公司	74%	中国遼寧省大連

(*)は連結対象子会社

株式の状況

- 発行可能株式総数 82,800,000株
- 発行済株式の総数 32,461,468株
- 当第2四半期末株主数 3,889名
- 所有者別株式分布状況



■大株主

株主名	持株数	持株比率
大同特殊鋼株式会社	13,103 ^{千株}	40.46 [%]
日本冶金工業株式会社	1,688	5.21
株式会社みずほコーポレート銀行	1,086	3.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	911	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	622	1.92
前尾和男	541	1.67
特殊発條興業株式会社	532	1.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	406	1.25
株式会社池田泉州銀行	401	1.23
日本精線共栄会	341	1.05

(注)持株比率は自己株式(78,242株)を控除して計算しております。

役員

取締役及び監査役

(*印の取締役は執行役員を兼務しております)

代表取締役社長	近藤龍夫
*取締役	上田啓介
*取締役	衣川公尊
*取締役	岸木雅彦
*取締役	多賀正宏
*取締役	児玉勝
取締役	新貝元
常勤監査役	稲垣多津夫
常勤監査役	住友清志
監査役	橋爪優
監査役	橋之口真

執行役員

上席常務執行役員	上田啓介
常務執行役員	衣川公尊
常務執行役員	岸木雅彦
常務執行役員	宮城修司
常務執行役員	多賀正宏
常務執行役員	児玉勝
常務執行役員	菊田真佐人
執行役員	中川準市
執行役員	新川博司
執行役員	川端泰司
執行役員	安部明夫
執行役員	西田成夫

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要のあるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
剰余金配当の基準日	期末 毎年3月31日 中間 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	5659
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	●電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
	●インターネット http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/

NIPPON SEISEN CO., LTD.

